

時間割：全6回(講義110分+事例検討50分)

講義/18:30~20:20 事例検討/20:35~21:25

	月日	講義(18:30-20:20)	事例検討
1	2016年 5月13日	<p>講座1. 虐待の原因は愛着関係の不成立</p> <p>A. 虐待の4つの類型と背景にある「心理的ネグレクト」(=愛着関係の不成立) 重症度5段階の理解と対応方法</p> <p>B. 愛着関係とはどういうものか</p> <p>C. 愛着関係が成立しない理由</p> <p>1. 母親に「軽度」知的能力障害がある場合 2. 母親に精神障害がある場合 3. 母親に被虐待体験がある場合</p>	<p>(20:35-21:25)</p> <p>●事例検討は、実際の事例を講師から提示・解説します。</p> <p>●事例検討に当たっては守秘義務の厳守をお願いします。</p> <p>●下記の事例が予定されていますが、事情により変更する場合があります。</p>
2	7月8日	<p>講座2. 母親の「軽度」知的能力障害と虐待との関係</p> <p>A. 母親の「軽度」知的能力障害を理解する 知的能力障害の精神医学的理解 / 厚労省の虐待死亡事例統計を読み解く</p> <p>B. 母親の「軽度」知的能力障害と虐待内容との関係 「軽度」知的能力障害～境界知能に分けて虐待を理解する</p>	<p>①MR*の母親によるネグレクト・心理的虐待の事例(子の生命が危惧され、児相介入)</p> <p>②MR*の母親によるネグレクト事例(夫のDV*問題をきっかけに事例化、児相通告)</p>
3	9月9日	<p>講座3. 「虐待の世代間連鎖」のように見えるもの</p> <p>A. 虐待の心因説と世代間伝達の理論 / 愛着理論とその研究</p> <p>B. 「虐待する親」についての研究 / 児童虐待についての理論 『心的外傷と回復』(ジュディス・ハーマン) / 代理ミュンヒハウゼン症候群</p> <p>C. 「被虐ママ」の心理的理解 解離性障害とそれに近い心理状態の理解 / 社会・対人恐怖</p>	<p>③MR*の母親によりネグレクトされた息子が発達障害と誤診された事例</p> <p>④被虐ママ*が心理的に追い詰められて子を死亡させてしまった事例</p>
4	11月11日	<p>講座4. 被虐待児の不応問題</p> <p>A. 反応性愛着障害 / 脱抑制型対人交流障害</p> <p>B. 被虐待児が誤解されやすい発達障害・精神疾患・引きこもり 広汎性発達障害(自閉症スペクトラム障害)、統合失調症などへの誤診</p> <p>C. 普通の家庭で育った支援者が被虐待児を誤解してしまう心理 「試し行動」を再考察する / 恐怖による拒絶</p>	<p>⑤子を愛せないで悩んでいた被虐ママ*の回復事例(愛着関係の再構築の経過)</p>
5	2017年 1月13日	<p>講座5. 「被虐ママ」の子育て支援</p> <p>A. 「被虐ママ」を知る 幼少時に受けた虐待 / 子育て不安の内容 / 誤診された子の事例</p> <p>B. 子育て不安と子どもを愛せない心理 産後うつ / 育児不安 / 赤ちゃん部屋のお化け</p> <p>C. 「被虐ママ」の回復と支援方法 子育てを通じて愛着関係を回復するプロセス / カウンセリングの方法</p>	<p>-----</p> <p>MR*：軽度知的能力障害 (mild Mental Retardation)</p> <p>DV*：配偶者間暴力 Domestic Violence</p> <p>被虐ママ*：幼少時に虐待を受けたことがある子育て中の母親</p>
6	3月10日	<p>講座6. 子と母を守るためのケースワークの実際</p> <p>A. 母親に「軽度」知的能力障害がある場合の支援方針 母親と友好的な関係を保ちながら→子を直接に守る 措置・指導・環境改善・在宅での支援方法</p> <p>B. 母親が正常な場合の支援方針 母親を心理的に理解する / 地域での支援体制を整える</p>	